

関東ふれあいの道(茨城)⑧筑波山縦走のみち(1)

2021年9月28日 池内淑皓

2021年4月25日(日)晴れ。真壁滞在二日目は加波山(かばさん)に登り、真壁に下山して横浜に帰る。コースは宿からバスで大曾根(旧雨引駅)に出て雨引観音、燕山、加波山、きのこ山を經由して真壁宿に下り、バスで水戸線の岩瀬駅に至る 17km、6時間のコース。



「関東ふれあいの道⑧筑波山縦走のみち(1)」案内板 (首都圏連絡協議会)



コース図 旧雨引駅スタート(大曾根バス停)→燕山→加波山→きのこ山→真壁宿ゴール 17km



宿の真ん前が真壁下宿バス停で、便利この上ない。コーヒーをもらって出発



昔あった筑波鉄道の旧雨引駅そばの「大曾根バス停」で下車



バス停前の交差点を右折すると雨引観音への道となる、角には大きな石碑が並ぶ、後方の山は雨引山



正面には加波山 709m(かばさん)が見える、田圃に水が入り始めた



昨山下した千勝神社前を通る



同じ道を昨山下した縦走路の尾根まで登り返す、関東ふれあいの道は実に効率悪い



朝からひと汗かいて尾根道に向かう、快適だった下り道も、登りはズルズル滑って歩きにくい



やっと登りが緩やかになると、稜線が近い



稜線の尾根は新緑一色で、風が吹き抜けて気持ち良い



木道の登りも快適なスタンスで歩きやすい



「燕山(701m)」11時到着、一休みしたいが雑木に囲まれ見通しが悪い



燕山と加波山の鞍部に、岩瀬に下る道標と、関東ふれあいの道石柱が立つ



加波山神社に到着、ここから頂上まで修験道となり、神域となる



「中宮拝殿」 私もここで参拝し、霊域に入れさせてもらう。



しめ縄から先は禅定道と言い、神聖な山伏達の修験道だと言う。道にはしめ縄が張られている



頂上まで 737 の神々が祀られている、親宮道をしめ縄通りに進む



本宮御本殿は加波山(709m)の頂上に鎮座している。昔は樺山、加葉山とも呼ばれ、山伏修験道の霊山として信仰が厚かった



御神体は霊山とされる巨岩である。五穀豊穰、たばこの神様として関東一円から信仰を集めた、加波山事件は有名。



南側は一転してなだらかな尾根に変わり、熊笹が繁る



一本杉峠まではほぼなだらかな下り道だ



「一本杉峠」昔は大きな杉があったという、桜川市から石岡市に抜ける県道が交差する



ここから西へは桜川市真壁町白井バス停へ、東は柿岡市の大塚へ抜ける



関東ふれあいの道は、舗装された林道に沿って「きのご山(528m)」に向かう



この林道は、所々ハングライダーの飛行基地にもなっている。石岡からの風の通りが良い



足尾山を通過(頂上を経由しない)、きのこ山にむかう



今日のコースはきのこ山からゴールの真壁宿まで下山する



真壁に向かって張り出す尾根を、一気に下る



尾根を下り、水の入った田圃の農道を横切って、バス道路に向かう



ゴールでバス待ちしていたら、地元のおじさんが駅まで車で送ってくれると言う、地方の人は親切です



おかげで 16:35 分駅に着いた、電車は 16:48 分にある。ラッキー

[参考タイム] 真壁下宿バス停(7:34)→大曾根バス停(7:55)→千勝神社(8:15)→縦走路(9:10)
→燕山(11:00-11:15)→加波山(11:55-12:15 昼)→一本杉峠(12:50)→足尾山(13:20)→きのこ山
(14:10)→真壁宿(15:30-16:00)→水戸線岩瀬駅(16:35-16:48)

この項完

関東ふれあいの道(茨城)⑨筑波連山縦走の道(2)に続く